

水戸藩士殉難150年記念事業 会津・新潟研修旅行 資料

水戸藩諸生党関係の主な慰靈碑

①. 恩光無辺の碑(水戸市・祇園寺)



②. 八日市場の戦いの慰靈碑(千葉県・匝瑳市)



③. 水戸藩諸生党鎮魂碑(福島県・会津市)



諸生党の軌跡(市村眞一先生著・市川勢の軌跡より)



水戸藩諸生党、農兵隊の鎮魂碑建立の趣旨

戊辰戦争の明治元年(1868年)8月23日雨の朝、土佐藩兵を主力とする西軍が怒濤の如く鶴ヶ城追手門に迫った際、北越戦線から会津に戻っていた諸生党などが駆けつけ危機を救った。その後城内の各門の防御と城外各地で会津藩と共に奮戦し感謝された。時代の流れに逆らって信念を貫ぬき、消え去った人たちに光をあてたい。 仰天会 栗栖平造 撲

2018.5.16 大森信明

④. 北越戊辰の役当処戦没者供養塔(新潟県・柏崎市灰爪)



灰爪の丘の供養塔



灰爪で兵士を埋葬したと伝えられる塚(4基ある)



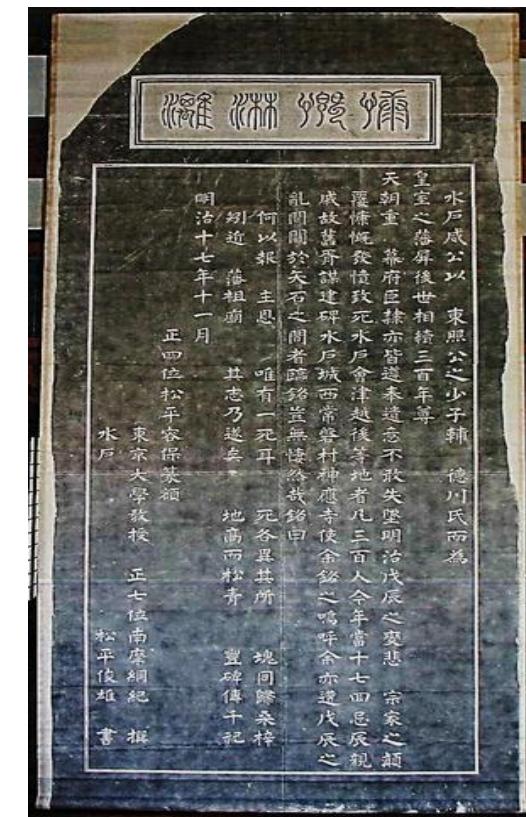
⑤. 佐藤図書の墓、案内板(新潟県・寺泊)



佐藤図書の墓



佐藤図書の墓の案内板



慷慨淋漓の碑・拓本

⑥. 慷慨淋漓の碑・拓本(こうがいりんりのひ・たくほん、水戸市・神應寺)

明治17年、弘道館戦争17回忌の際、元会津藩主・松平容保公の書による諸生党藩士の慰靈碑。石碑は第二次大戦の水戸空襲により崩壊したが、拓本が現存する。

碑拓本附台石は平成27年2月、水戸市指定文化財(歴史資料)に指定されました。